

北海道企業局工業用水道事業経営評価委員会議事要旨

日時：平成 25 年 4 月 19 日(金)14:00～15:33
場所：企業局大会議室

(開催要領)

- 1 開催日時：平成 25 年 4 月 19 日(金) 14:00～15:33
- 2 開催場所：北海道企業局(道庁別館 10 階)
- 3 出席委員(五十音順)
委員 安達 陽子 安達中小企業診断士事務所 所長
委員 原田 実 株式会社北海道二十一世紀総合研究所 取締役業務総括担当
委員 平池 暁 北海道経済連合会 総括部長
委員長 湊 孝康 NPO 法人遺伝子栄養学研究所 理事
委員 村上 淳 株式会社道友エージェンシー 代表取締役社長

(次第)

- 1 開会
- 2 議事
(1) 道営工業用水道を取り巻く状況について
(2) 平成 25 年度当初予算について
(3) 新規の需要について
(4) 需要開拓の取組状況について
- 3 その他
- 4 閉会

【意見等要旨】

(事務局より資料の説明後、委員から次のとおり意見等があった。)

- 1 道営工業用水道を取り巻く状況について
 - 工業用水道料金要領の改正に係る、資産維持費の導入については、今後の施設維持に関する諸問題を念頭に置いて、検討すべきである。
 - 国への要望事項については、具体的な形で 1 日も早く実現するように、それぞれの現地から声を出し、関係機関に対して要望を強めていく事が大事である。
- 2 平成 25 年度当初予算について
 - 将来の工水の需要減少に対応できるよう、受水企業の動向を踏まえながら、企業局側としてもその影響をリサーチしておくべきである。
- 3 需要開拓の取組状況について
 - 企業誘致について、全般的にもっと若い人や女性の意見を入れた方が良い。
 - 工水のホームページについては、最初の画面にトピックや項目をより分かりやすく見せる工夫をしてはどうか。ホームページの更新は一度に沢山行うのではなく、頻繁に行い目に触れる機会を増やす方が効果的である。施設見学会の案内等も、早めに表示したほうが参加しやすい。
 - 苫小牧・室蘭の既存ユーザーのフォローもしっかり行うことにより、そこから出てくるニーズが石狩の新規需要に繋がる可能性もある。
 - 石狩での新規立地を表明している北海道電力(株)や北海道ガス(株)のフォローをしっかり行うことにより、それに付随する周辺企業の動きも把握することができる。
 - 受水企業同士の工場・施設見学会など、既存受水企業の満足度を上げるサービスも同時に展開していかななくてはならない。